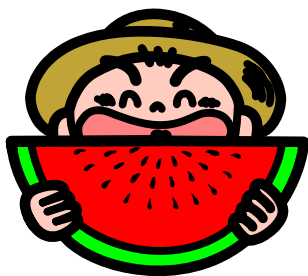


一学期を終えて

この1学期間、坂本小学校の子ども達は、それぞれ入学・進級し、新しい担任の先生と新しい気持ちで、いろいろな学習や体



験をしてきました。そして、一人一人に成長の跡の見られる学期でした。学習面もさることながら、この学期は特に、体力向上に新一年生が新しい風を吹かせてくれました。運動場にある決して多いとはいえない遊具を目いっぱい活用し、いつも体を動かしていました。4月当初は、渡ることができなかった雲梯（うんてい）も、今では6名が渡れるようになり、逆上がりも5名ができるほどです。これを見ていた2年生以上も含めて鉄棒ブームが始まり、回転技や難しい技にも挑戦する姿が見られるようになりました。また、校舎内にある体力向上のコーナー（たくちゃんホール）を毎時間の休み時間に活用したのも1年生でした。夏休みにも自宅でできる体力向上に取り組んでほしいと思います。そして、さらにたくましくなってほしいと思います。

さて、いよいよ明日から夏休みがスタートします。夏休みは、34日間という休みを利用して、普段の学校ではできないような体験や、長い期間にわたっての調査や研究などの学習ができるというよさがあります。また、家族とともに行動したり家庭の仕事を分担したりするなどして、家族の一員としての自覚や絆を深めることができるというよさもあります。学校では、有意義な夏休みが送れるように、夏休みの意義について指導したり、生活や学習の計画を立てさせたりしたところです。登校日等を利用して子どもへの励ましや指導等を行います。ご家庭におかれましても、以下のような点につきましてご指導をお願いします。

- 生活のリズムを壊さないよう、早寝早起きに努める。
- 計画的に学習し、進んで読書を行う。
- 家族の一員として、できる仕事は責任もって行う。
- 作品募集に積極的に応募する。
- 交通事故、水難事故等にあわないように気をつける。
- 不審者等から身を守る。

教育に関する名言

知らないのは恥ではない、知ろうとしないのが恥である。

沢柳 政太郎（元文部次官、後の帝国教育会会長）

知らないのが恥であると言われると、私などは、恥のかたまりになってしまいます。世の中、知らないことだらけ、分からないことだらけです。でも、みんな同じであり、それを自覚しているかどうか知ろうとするかしないかの違いなのではないでしょうか。

おまけ 頭の体操

問題1 ※日本大学第二中入試問題

次のわり算のA、B、C、D、Eに入る数字を求めなさい。ただし、A、B、C、D、Eはすべて異なる数字です。

$$\begin{array}{r} \text{A C B} \\ \text{A B} \overline{) 2 \text{ B } 7 \text{ 9}} \\ \underline{\text{A B}} \\ \text{A D 7} \\ \underline{\text{A D E}} \\ \text{B 9} \\ \underline{\text{B 9}} \\ 0 \end{array}$$

ヒント
この数字
が9である
ことから、
何かが分か
るはず！

答え A = B = C = D = E =

※ 答えがお分かりになられたら、学校まで連絡ください。

坂本小学校の合言葉

あ あかるく
し しんけんに
た たくましく



子どもたちの健闘を称えます。

◇宮日こども新聞「宮日芸芸」掲載

1年	〇〇	〇〇	君
1年	〇〇	〇〇	さん
5年	〇〇	〇〇	君
6年	〇〇	〇〇	さん

宿泊学習の思い出

「宿泊学習をふり返って」 〇〇 〇〇

私たちは、二泊三日の宿泊学習に行きました。私は、心に残ったことが二つあります。

まず一つ目は、カヌー体験・チュービング体験です。このカヌー体験は五ヶ瀬の川だからこそできることです。また、五ヶ瀬の川がきれいだからできるのだと思います。これは、五ヶ瀬のよさの一つです。みんなが川の水をきれいに使っているからだと思います。宿泊学習で川に行った時は、雨が降った後なので川の水がにごっていたけれど、それでもきれいだったの、五ヶ瀬の川はよっぽどきれいなのだと思いました。これからも、きれいに使ってきれいな川を残していきたいです。

二つ目は、農泊です。私は、「黒板らくがき庄」というところに行きました。初めて行ったし、知らない人だったのにやさしく接してくれました。これも、五ヶ瀬のよさの一つです。農泊に行った時に、農泊の方が、「おかえり」

と温かくむかえ入れてくださってすごくうれしい気持ちになりました。

五ヶ瀬には、たくさんやさしい人がいるんだなと思いました。そして、私たちはやさしい人々に囲まれているんだなと思いました。

最後に、私は活動班C班の班長でした。一番、意しきしたことは時間です。一人が遅れるとみんなが遅れるので時計を見て、みんなに声をかけました。だから、時間におくれることがなかったのよかったです。

みんなで協力できて楽しい二泊三日でした。

「宿泊学習で学んだこと」 〇〇 〇〇

ぼくは、宿泊学習で活動班と生活班の班長をしました。班長をした中で、特に心に残ったことは二つです。一つ目は活動班でのこと、二つ目は生活班でのことです。

一つ目の活動班では、竹細工作りとカレー作りが心に残っています。竹細工は分からないところがあった時、友達に聞いたり、聞かれたりして協力をして作りました。

カレー作りでは、具を入れるじゅん番を間ちがえたりしましたが、火おこしをみんなががんばっておいしいカレーができました。

この二つで学んだことは「協同」です。大きくなっても協同が大事なので協同を続けます。

二つ目の生活班では、いっしょにねたり、おふろに入ったりしました。おふろに入る時は順番を守ったりして、ねる時はねずみが悪い人は、少しはなれてねたりしました。この二つは「規律」と「友愛」だと思いました。生活班と活動班では四つのめあての三つを見つけてことができている。帰る時のそうじの時間は、「奉仕」が見られたのでよかったです。これからの社会には、これらが必要だと思うので、これからもしっかり守りたいなと思いました。

「宿泊学習で学んだこと」 〇〇 〇〇

ぼくたちは、二泊三日の宿泊学習に行きました。そこで、特に心に残ったことが三つあります。

一つ目は、フットパスで自然の音、声を聞いたことです。棚田でネイチャーゲームをして、たくさん鳥の声や川の音を初めてじっくり聞いたことが心に残りました。

二つ目は、えりもの体験です。ぼくは初めてやって、ドキドキしながらのスタートでした。そして、やっていると中に、後藤さんから、「それが仕上がったらカッコいいよ。」

と、元気づける言葉をいただいたので、ぼくはうれしかったです。そして、完成したら、とてもカッコいい「たつ」ができました。

三つ目は、農泊です。ぼくは、「新地」というところに行きました。ぼくが、「ただいま。」

と言ったら、後藤さんの奥さんが、「お帰り」

と言って、むかえてくれたのでうれしかったです。後藤さんの家では、菊を育てていて、その菊の箱作りをしました。箱作りは楽しかったです。あと、家の中で花ふだをしました。

二泊三日の宿泊学習で五ヶ瀬のよさをたくさん知ったのでよかったです。

「思い出に残った宿泊学習」 〇〇 〇〇

ぼくは、七月十二～十四日まで、宿泊学習に行きました。

一番心に残っていることはカヌーです。なぜ、カヌーが心に残っているかというと、カヌーはふだんなかなか乗れないからです。ぼくは、カヌーに乗るのは三回目でした。乗ってみて、川の流れの速いところでごうのが難しかったけれど、楽しかったです。あと、ぼくはカヌーに乗るのがひさしぶりだったのでできるか不安でした。でも、エイジソンさんの話を聞いたら、うまく乗ることができました。よかったです。

宿泊学習でがんばったことは友達と仲良くする「友愛」です。三日間、ぼくは、みんなと四つのめあてが守れたからよかったです。また、キャンプ村に行きたいです。